

研究課題名	門脈腫瘍栓に対する肝動脈塞栓術の検討
研究の意義・目的	門脈腫瘍栓は肝細胞癌の中でも治療に難渋する病態です。本研究では、腫瘍栓をともなう ChildA の肝細胞癌の患者さんに対して、肝動脈塞栓術を2か月以内に繰り返して受けられた方の治療成績を後ろ向きに検討することを目的としています。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可後 ～ 2026年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2010年4月から2022年12月31日の研究期間内に大阪公立大学医学部附属病院で肝細胞癌腫瘍栓に対して2か月以内に繰り返して治療を行った、肝機能 Child A の患者さんが対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	通常診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【年齢、性別、検査前後の状態、基礎疾患、副作用、検査データ、画像データの記録、予後】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院放射線診断科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院放射線診断科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	研究責任者 山本 晃 大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 担当者名：山本 晃 電話番号：(06) 6645-3831 メールアドレス：akira@omu.ac.jp